

# 伝えたい、戦中・戦後の記憶

# 戦後世代の語り部

# 育成事業



傷痍軍人錬成大会



疎開先での掃除の様子(長野県長村)



焼け跡を歩く母子 提供:米国立公文書館



肉親を捜す残留孤児 撮影:浜口タカシ 提供:(公財)中国残留孤児援護基金

残留孤児の情報に見入る婦人 撮影:浜口タカシ

# 第三期 研修生 募集

戦中・戦後を直接体験された方々が高齢となり、当時のことを語り継いでいくことが難しくなっています。

「昭和館」「しょうけい館」「首都圏中国帰国者支援・交流センター」の3施設では、平成28年度から当時の体験と労苦、思いなどを後世に語り継いでいくため、「戦後世代の語り部」の育成事業を行っています。

## 研修概要

- 平成30年9月以降、月1~2回程度研修(土曜又は日曜を予定)を実施します。
- 1年目:当時の体験を聞き取り、語り部としての基礎知識、話法技術等の習得
- 2~3年目:語り部講話演習、実習によるスキルアップ
- ◎研修修了後は、各施設から委嘱を受け、語り部として講話活動等をしていただきます。

## 募集対象

- 戦後生まれの方で戦中・戦後の記憶を次の世代に伝える意欲がある方
- 自費で各施設に通所できる方

## 応募方法

- 募集は裏面の各施設で行います。
- 各施設が指定する応募用紙に記入の上、小論文(1600字程度)を添付し、各施設あてに郵送、又は、Eメールでお申し込みください。
- 応募方法等の詳細は各施設のホームページでご確認ください。
- 応募用紙はホームページからダウンロードできます。

## 応募期限

平成30年8月6日(月)必着

## 選考方法

- 応募用紙及び小論文による書面審査と面接により選考します。

各施設の詳細については裏面をご覧ください。

# 「語り部育成事業」研修生を募集します



昭和館は、戦没者遺族、親元を離れ学童疎開した子どもたち、空襲により家や家族を失った人々、海外からの引揚者等、戦中・戦後の国民が体験した労苦を次の世代に伝える国立の施設です。

## 継承内容

戦没者遺族をはじめとする国民が体験した戦中・戦後での様々な労苦を継承。

## 小論文テーマ

「昭和館を通して次の世代に対して何を伝えるべきか」

## 募集人員

10名程度

## 問い合わせ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1  
電話：03-3222-2577 FAX：03-3222-2575



ホームページ：<http://www.showakan.go.jp>

Eメール：[somu@showakan.go.jp](mailto:somu@showakan.go.jp)



しょうけい館（戦傷病者史料館）は、戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦についての資料及び情報を収集、保存、展示し、次世代にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

## 継承内容

戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦を継承。

## 小論文テーマ

「戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦を継承するために大切にしたいこと」

## 募集人員

10名程度

## 問い合わせ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13  
ツカキスクエア 九段下  
電話：03-3234-7821 FAX：03-3234-7826



ホームページ：<http://www.shokeikan.go.jp>

Eメール：[kataribe@shokeikan.go.jp](mailto:kataribe@shokeikan.go.jp)

## 首都圏中国帰国者 支援・交流センター

首都圏中国帰国者支援・交流センターは、帰国した中国残留邦人等とその家族が、周囲の人とのつながりの中で、それぞれの世代にふさわしい「自立」を実現できるよう、日本語学習支援、地域での交流事業、生活相談などを行っています。

## 継承内容

中国残留邦人等が戦中・戦後及び帰国後に体験した様々な労苦を継承。

## 小論文テーマ

「中国残留邦人（または樺太等残留邦人）に関心を持ったきっかけと継承への思い」

## 募集人員

5名程度

## 問い合わせ先

〒110-0015 東京都台東区東上野1-2-13  
カーニープレイス新御徒町7F  
電話：03-5807-3171 FAX：03-5807-3174



ホームページ：<https://www.sien-center.or.jp>

Eメール：[kikaku@sien-center.or.jp](mailto:kikaku@sien-center.or.jp)